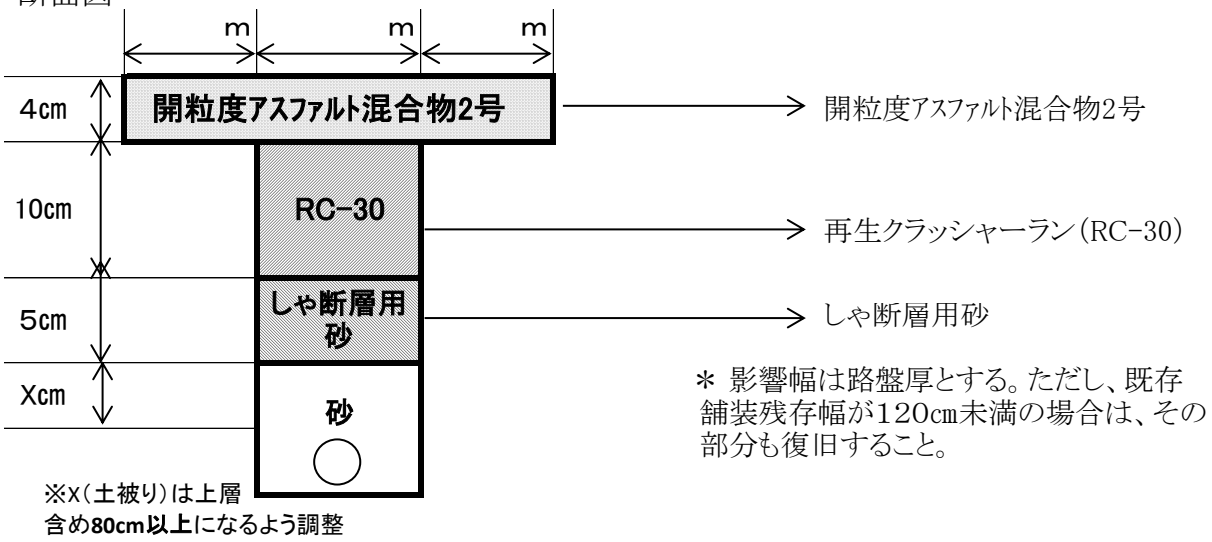
# 舗装復旧図（歩道透水性19型）

断面図




1　舗装切断はカッターを使用し、粗雑にならないよう施工すること。

2　埋戻しは原則として砂を使用する。但し、発生材が良好なる場合は、道路管理者の指示に従い使用することができる。

3　埋戻しは、30cm（路床部にあっては20cm）以下ごとに充分転圧をすること。

4　しゃ断層用砂を充分転圧後5cm厚に仕上げること。

5　再生クラッシャーラン（RC-30）を充分転圧後10cm厚に仕上げること。

6　既存路盤は、欠損部分を補充すること。

7　開粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物2号を充分転圧後4cm厚に仕上げること。

8　本復旧後の表示マークを路端に記すること**（仮復旧後は、「仮」も併記すること）**。
マーク例示　　水道＝W　　下水道＝D　　東電＝E
NTT＝T　　ガス　＝G

9　工事については、下記のとおり施工写真を撮り、工事竣工届に添えて提出すること。

（1）施工前　　1枚
（2）掘削時　　1枚**（掘削幅がわかるように）**
（3）占用物件の状況　1枚**（埋設位置がわかるように）**
（4）埋戻し状況　　1枚
（転圧時）　　1枚
（5）路盤施工　　各1枚
（6）舗装施工　　各1枚
（7）完了後　　1枚**（舗装復旧面積がわかるように）**